

(1)令和7年度協働のまちづくりフォーラムの開催について

定例記者会見資料 令和8年2月17日 協働まちづくり部地域づくり推進課

地域課題解決や地域の賑わい創出のために、多様な主体が協働していくことの必要性について、市民の理解を深め、市民主体によるまちづくりをより一層推進することを目的に、まちづくりの事例発表等を行う「協働のまちづくりフォーラム」を開催します。

1 開催日時及び会場

日時：令和8年3月15日（日）
13：30～15：30（予定）
場所：奥州市役所江刺総合支所多目的ホール
（奥州市江刺大通り1番8号）

2 参加対象者

NPO関係者、地区振興会関係者、事業者、地域おこし協力隊員ほか、内容に興味関心のある方

3 定員

150名

4 入場料

無料

5 申込方法

申込フォーム（<https://logoform.jp/form/cAix/1428793>）、チラシQRコードの読み取り、電話又（34-1618）はメール（chiikidukuri@city.oshu.iwate.jp）で申込む。



【申込フォーム】



【市ホームページ：ID 17687】



6 内容

○活動報告

奥州市協働のまちづくりアカデミー第11期生の活動報告



今年度（第11期）は8名の受講生が、4月の座学からまちづくりの知識等について学び、自分たちで地域課題解決を目指した実践事業の実施に向けて取り組んできました。報告では、これまでの経緯や実践活動の内容等について発表します。

○事例発表

多種多様な立場から地域課題解決や地域の賑わい創出に取り組んだ活動事例の紹介



（特非）YOUTH SDGs SIP
理事長 佐々木 隆太 氏（右）
会長 小野寺 悠良 氏（左）

県内5校35名の高校生を中心に活動をしているNPO法人。貧困問題を含むSDGs17の目標に高校生の視点からアプローチしている。学習支援×食の提供を中心に、SDGsに関する講演会の開催、企業と連携しながらの大型イベント実施や商品開発に取り組んでいる。



株式会社松田商事
代表取締役 黒沢 真紀 氏

施設管理事業や冷凍商品自動販売事業等を手掛ける。また、市民活動等に取り組む個人や団体への支援、連携事業等に精力的に取り組んでいる。代表取締役の黒沢氏は、奥州市協働のまちづくりアカデミー第10期修了生。



奥州市地域おこし協力隊
高橋 有紀 氏

稲作での就業を目指す地域おこし協力隊員。就農の技術習得の傍ら、農業・農産物の情報発信や地域づくり活動にも精力的に参画している。

○パネルディスカッション

「立場、所属組織、分野等『垣根を超えた連携』による地域づくりを推進していくためには」

【コーディネーター】

（特非）いわて地域づくり支援センター
代表理事 広田 純一 氏



岩手大学名誉教授。農学博士。県内外の地域づくり活動支援に取り組んでいる。奥州市市制施行20周年特別功労表彰受賞（地域自治の推進）。

【パネリスト】

事例発表者の皆さま